

## (第七時の実践学習プリント)

### 「故郷」個人テーマの観点づくりについて

◆「故郷」の読了後、次のようなステップで「個人テーマの観点づくり」を行う。

- (1)登場人物(三人)について、一人ずつ短時間の感想を交流する。
  - ・ヤンおばさんについてどう思うのか。
  - ・感想の中に、その人物の生き方に対する評価が入ってもよい。
  - ・過酷な社会状況の中の人間の生き方の難しさのレベルの内容にまで触れる。
- (2)考えの形成を行うために観点を選び、自分のテーマを設定する。(自分の課題づくり)
  - ・ヤンおばさん、ルントウ、私、その他の中から、書くための中心人物を決める。(複数の人物でも可)
  - ・登場人物を限定しなくても可(社会状況と人間等)
- (3)意見文の具体的な内容(イメージ・見通しを持たせる)
  - ・ヤンおばさんの心は、どのような状況によって変わってしまったのか。そのことに対する意見。
  - ・ルントウの「旦那様……」という呼び方は、どんな状況の中から生まれたか。そのことに対する意見。
  - ・私のこれからの生き方。(予想、期待)
- (4)意見文を書くためのタイトルを自分の言葉で決める。
- (5)次時の予告
  - ・本文を根拠に、考えを述べるも可。
  - ・自分の既有的知識・経験から、考えを述べるも可。
  - ・関係する他の情報を取り入れて考えを述べるも可。

◆本時のねらい  
 「故郷」の解釈をもとにして、人の生きる姿や社会のあり方について考えたことを仲間と交流する活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。  
 ◆本時の展開（9/9）

<p>導入</p>	<p>学習活動</p> <p>◆学びの足跡であるポートフォリオに今までどんなものを収集してきたのか振り返る。        ◆本時の課題</p>	<p>指導・援助</p> <p>・ポートフォリオの中身を振り返り、考えの形成を行う「相手意識・目的意識」を自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら確認することで、主体的な学びにつながるようにする。</p>
<p>展開</p>	<p>◆自分のテーマと考えたことについて発表する。        「Aさん」レントウでくのぼうのような人間になって欲しくなかった社会制度が整い、一人一人が守られ安心して生活できる社会であればレントウも希望をもって生きることができたと思う。</p> <p>◇仲間の発表に関わって自分の意見を発表する。</p>	<p>「感想」と「考えの形成」の違いを示す中で、「考えの形成」を行う必要性を「自分づくり」と「新しい時代を生き抜く力」の二つの観点から示し、主体的な学びの姿を生み出すようにする。</p> <p>・考えをめぐらすことができるよう、考えを広め深めるためのポイントと、考えを述べるときのポイントを板書に位置付ける。</p> <p>・全体交流の場面では、意図的指名により、モデルを示すようにする。モデルで示したい内容は次の三つである。</p> <p>(1)「故郷」の作品の中から読み取れることを根拠に考えの形成を行う発言。        (2)「故郷」の作品だけでなく、新たな情報を踏まえた上で考えの形成を行った発言。        (3)仲間の発言を踏まえた上でさらに考えの形成を行った発言。</p>
<p>終末</p>	<p>◆本文をもとに考え、意見を述べる。（根拠が違う）        私も、社会制度が整っていないと人は希望をもつことができず、レントウのようにでくのぼうみたいな人間になってしまうと考えました。本文の中で、匪賊が登場します。匪賊が取り締まられていない社会ということです。役人や地主も登場します。当時、民衆の敵とされていた人たちです。これらをコントロールするのが政治です。公民で習った日本の政治の三権分立の体制のようにお互いにチェックし、みんなのための社会をつくらないといけないと思います。</p> <p>◆本文をもとに考え、意見を述べる。（主張が違う）        ○○さんの意見を聞いて、もう一度本文から考えてみたのですが、社会に秩序がないと、ヤンお婆さんのように野放図に走る人が増えると考えます。自分の生活は、自分で守るしかないからです。弱いものいじめもますます増えるでしょう。秩序のない社会は悪循環がうまれるので、魯迅がこの作品で訴えたように、そこに生きる人たちの「心」を治すことが一番大事だと考えます。</p> <p>◆「体験や見聞」・「新しい情報」を用いて述べる。        私は「社会制度」よりも「心」を治すことが大事だと思います。プータンは、故郷の中で出てきた「満足」同様、古くからの風習を大切にしている国だ。しかし、幸福だと感じている人は、九割を超えています。そこで、何が違うのか考えてみました。みんながやってたかって、じじいしたこと、でくのぼうようになったレントウとの違いは、プータン人は自分の意志があり、自分らしい幸せを追求しているところです。だから、社会制度を整えることよりも、意志ある生き方をすることが大事だと思います。</p> <p>◆分らないところは質問する。        プータンの人がもっている「意志」とはどんな「意志」ですか？        「自分らしい幸せ」とは何ですか？</p> <p>◇グループで交流する。</p> <p>◆僕は、豊かな国になれば、人は幸せになれるのか？というテーマで考えました。確かに、貧しいとヤンお婆さんのように……。しかし、ムヒカ前大統領は……。だから、僕は自分の物差しで、自分の幸せを見出せる人でありたいと考えたのですが、みんなは僕の意見に対してどう考えますか？</p> <p>◇グループ交流を通して、自分の考えはどのように広がり、深まったのかを発表する。</p> <p>身分の差によって、二人の関係が崩れてしまったのだから、身分の差のない社会がいいと単純に思った。しかし、二人の関係が崩れてしまった原因はそれだけではないと分かった。犬じらしの場面が設定されている意図から、私は、どんな人に対しても偏見をもたずにいいたいし、友を信じられる人でありたいと思った。</p> <p>◇振り返りを書く</p>	<p>「仲間」の考えを踏まえた上で、自分の考えを発言する」という条件を与えることによって、仲間の考えと自分の考えの共通点や相違点をはっきりさせた上で、自分の考えを再構築できるようにする。また、個に話させる場面を設定することで、脳に汗をかせる状態をつくり出す。</p> <p>・仲間の考えを踏まえた上で、自分の考えを広め、深めた生徒を価値付けることで、振り返りを書くときのポイントを示唆する。</p> <p>・「読むこと」は内容を理解して読み味わうという魅力だけでなく、もの見方や考え方を養い、自分づくりにもなるという魅力を確認し、読書を通して自己を向上させようとする態度につなぐ。</p> <p>仲間の考えを踏まえて人間、社会、自然などについて自分の考えを広げたり深めたりしている。（読むことエ）</p>